

Mister AUTO 蓄圧式噴霧器

家庭用 園芸薬剤専用

HS-Eシリーズ取扱説明書

安全上のご注意

ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

⚠ 危険：人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される項目

⚠ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される項目

⚠ 注意：人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される項目

ご使用になる前にタンク交換時期お知らせラベルの上紙を必ずはがしてください。

《上紙のはがし方》

白い上紙だけをはがすと濃色ラベルが見えます。

はがす

※本体裏側に貼付しています

《ラベルの見方》

1側の濃色ラベルの色があせ、2側の水色と同じ色になったらタンクの交換時期です。

1と2の色の差が大きい

1と2が同じ色になったらタンク交換時期です

紫外線劣化するとだんだんと1の色があせて薄い色になっていきます

危険

タンクの交換目安はご使用開始後4年です。4年未満であっても、次の場合はただちに使用を中止するか新品のタンクに交換してください。タンクが破裂する恐れがあります。

①タンク交換時期お知らせラベルが1と2同じ色になった時

②紫外線劣化によりタンクにクモの巣状の細かい亀裂が生じた場合

警告

改造は絶対にしないで下さい。故障や異常作動をし、ケガの原因となります。

噴霧器指定の薬剤以外や、強酸性・強アルカリ性の液体、可燃性の液体（ガソリン・灯油等）溶剤等は絶対に使用しないで下さい。タンクが破裂や爆発する恐れがあります。

薬剤使用上のご注意

注意

薬剤散布後はタンク内を洗浄後、清水を噴霧し、ノズルやホース内の薬剤も洗い流してから圧力を抜いて下さい。薬剤が残ると噴口やストレーナーがつまりたり劣化による故障の原因となります。

散布後はすみやかに圧力を抜いて下さい。加圧したまま長時間放置しますとタンクの早期劣化の原因となります。

薬剤の付属の説明書に従って下さい。

散布の際は薬剤の付着や吸入を防ぐため、露出の少ない衣服（マスク・めがね・手袋等）を着用して下さい。

有機溶剤が多く含まれるトレフアノサイド・ゴーゴサン・スタム・DDVP等には使用できません。製品を変形させ、故障やタンク破損の原因となります。

園芸用のマシン油剤はお使いいただけます。工業油（ガソリン・灯油・潤滑油など）には使用できません。故障や破損の原因となります。石灰硫黄合剤は、ぬるま湯で溶かすと詰まりにくくなります。

薬剤は適切な濃度でご使用下さい。濃度の高い薬剤は植物を傷め噴霧器故障の原因となります。※粉状・粒状の薬剤はそのまま使用できません。

故障かな？と思ったら

◎点検等で分解する場合は、必ずタンク内の圧力を先に抜いて下さい。

◎蓄圧式噴霧器は構造が簡単ですので、ほとんどの場合、お客様での修理が可能です。下記の「症状→原因→対策→処置」の手順でご確認下さい。処置後、症状が改善されない場合は修理をご依頼下さい。

◎修理をご依頼される際は、交換部品以外に、工賃・送料などが必要となりますのでご了承下さい。

症状	原因	対策	処置
・噴霧しない ・霧の出が悪い	タンク内の圧力は上がる （安全弁レバーを引き上げると「シュー」と音がする。）	噴口のつまり	洗浄する 処置A
		ストレーナーのつまり	洗浄する 処置B
		圧縮不足	安全弁が作動するまで再加圧する
	タンク内の圧力が上がらない	吐出ホースの折れ	折れを直す
		ポンプの締め付け不足	ポンプを締め付ける
		ポンプ部Oリングの油切れ・劣化	注油又は交換する 処置C
		安全弁Oリングの油切れ・劣化	注油又は交換する 処置D
・各接続部より水漏れ ・ノズル本体より水漏れ ・ノズルのレバーが重い	吐出弁の劣化・紛失	交換する	処置E
		圧縮不足	安全弁が作動するまで再加圧する
	ゆるみ・締め付け不足	締め付ける	処置F
		Oリングの劣化	Oリング交換
	油切れ	注油する	処置F

Oリングには定期的に少量のグリスを注油して下さい。油が切れると動作不良や水漏れの原因となります。※注油は純正品のグリス（シリコングリス PA-186）をご使用下さい。Oリング類、シリンダパッキン、吐出弁は純正品のHS-B/C/Eパッキンフルセット（PA-176）をご使用下さい。

処置A 噴口の洗浄

しめる

穴

ゆるめる

つまようじ等で穴のつまりを取り除いて下さい。

処置B ストレーナーの洗浄

取り付ける

はがす

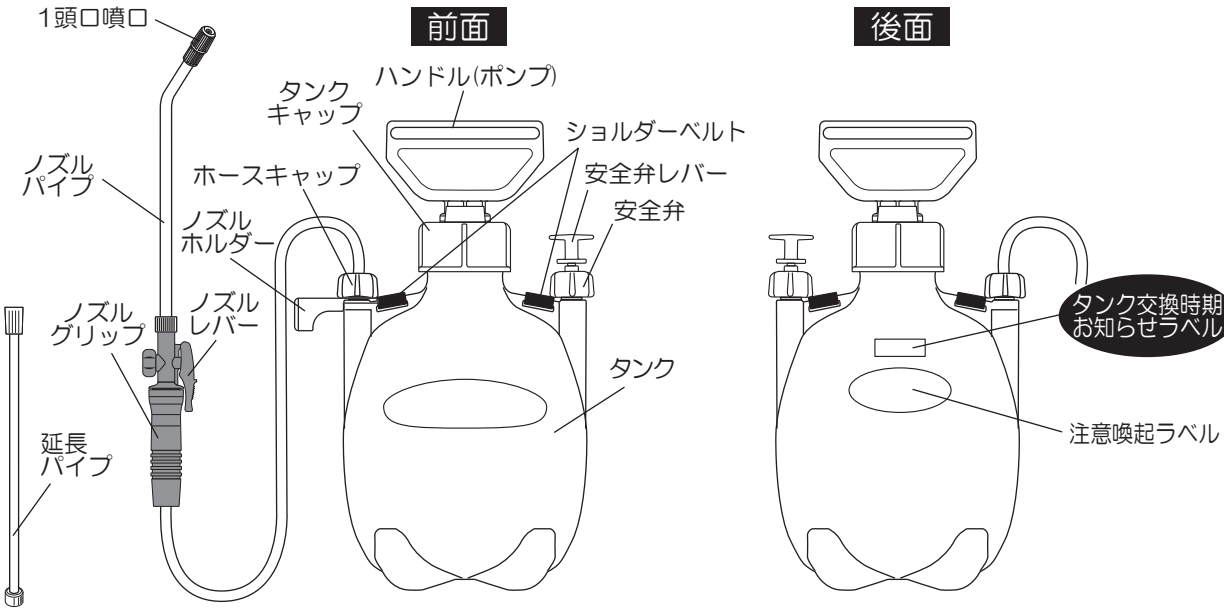
ストレーナー

ホースキャップ

網目部分

ホースキャップをはがし、ストレーナーの網目部分のつまりを取除いて下さい。

各部の名称



仕様・性能

機種名	タンク 容量	ノズル形式・全長	ホース 長さ	安全弁作動 圧力	噴霧時間	噴霧面積	用途
HS-401E	4ℓ	1段1頭口(38cm)	1.5m	0.2MPa (2kgf/cm ²)	約16分	14～18坪	殺虫剤・防除用
HS-401ET		1段1頭口 (38cm) +延長パイプ(37cm)					
		三延長パイプ使用時(75cm)					

HSシリーズ用オプションパーツ(ノズル・パイプ)

型 式	名 称	ノズル長さ	JAN
PA-197	2段1頭口ノズルクミ	最長113.5cm～収納時63cm	4971770-401310
PA-170	2段2頭口ノズルクミ	最長113.5cm～収納時63cm	4971770-402171
PA-171	4段2頭口ノズルクミ	最長201cm～収納時63cm	4971770-402980
PA-106	泡状除草ノズルクミ	38cm	4971770-101876
PA-107	粒状除草ノズルクミ	38cm	4971770-101883
PA-168	延長パイプクミ	37cm	4971770-402447

※薬害を防ぐため、噴霧器本体は消毒と除草の兼用使用はしないで下さい。
※噴霧時間は薬剤の種類により異なります。

工進 お問い合わせ相談窓口

製品についての取扱い方法・商品選定、購入後1年以内の製品で故障かな？と思ったら…

パソコン <http://www.koshin-ltd.co.jp> 画面上のココをクリック

フリーダイヤル キョウトのコーシン 0120-075-540

平日：9:00～12:00・13:00～17:00
土曜：9:00～12:00
（年末年始・夏季休暇等・日祝日を除く）

●製品のパーツについては、お買い上げの販売店にご相談下さい。
●製品の価格・納期は、代理店・販売店にお問い合わせ下さい。

左のQRコードで
購入前&購入後の
Q&Aをご覧ください

お客様サポート

受付時間は予告なく変更される場合がございます。詳しくはホームページをご覧ください。
ご購入より1年間は保証がございます。ご購入日がわかるレシート等を保管して下さい。

株式会社 工進

本社・工場 〒617-8511 京都府長岡京市神足上ハノ坪12
<http://www.koshin-ltd.co.jp>

12-10 040137403

処置C

はがす

①タンクを固定してハンドルをまわしタンクキャップを外します。

②ハンドルを引き上げ抜き取ります。

タンクキャップ

シリンダ

交換

シリンダパッキン

③タンクキャップを持ちシリンダをまわして外します。

④Oリングに注油または、交換して下さい。

⑤タンクキャップにシリンダをまわらなくなるまで締め込んでから、タンクに取り付けて下さい。

注油

交換

P25

処置D 安全弁Oリングの注油・交換

取り付ける

はがす

①安全弁を回してはずします。

②安全弁各部をきれいに洗浄して下さい。

注油

交換

Oリング P5

③安全弁のAの所にグリスを付けて下さい。

交換

Oリング S12

シリンダ

処置E 吐出弁の交換

吐出弁

引っ張る

ポンプ先端の吐出弁を手ではずして下さい。取り付ける際は隙間が無くなるまで手でしっかりと押さえて下さい。

処置F ノズル部Oリングの注油・交換

注油

交換

ノズル本体キャップ

Oリング P11

注油

交換

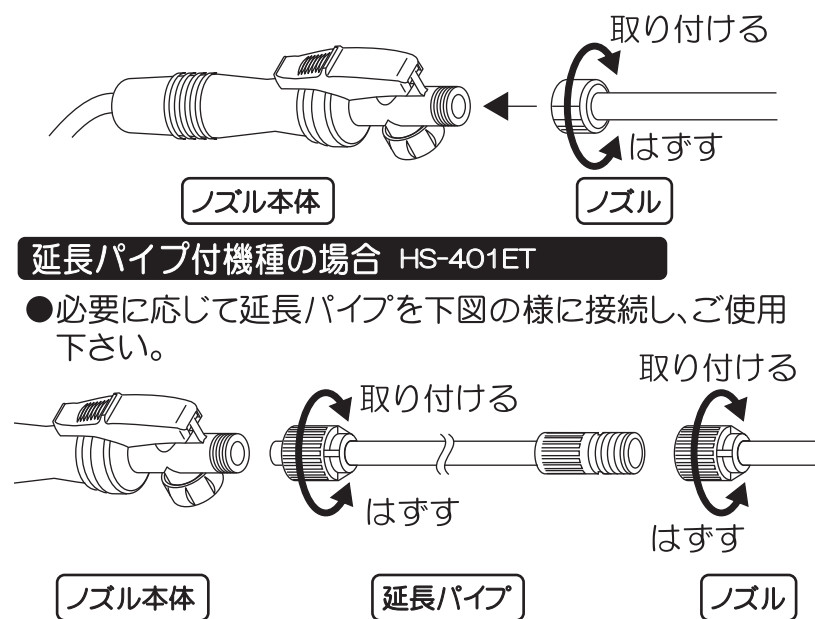
Oリング P5

注油

交換

Oリング S3

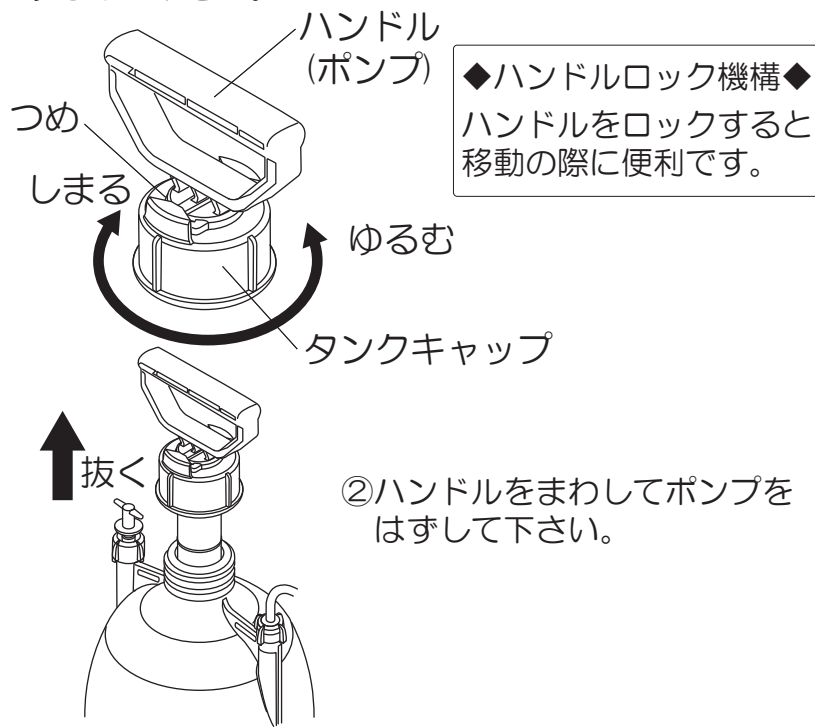
① ノズルを組み立てます。



注意 接続部にはパッキンが付いています。必ずパッキンがあることを確認して下さい。また、液漏れがないようしっかりと締め付けて下さい。

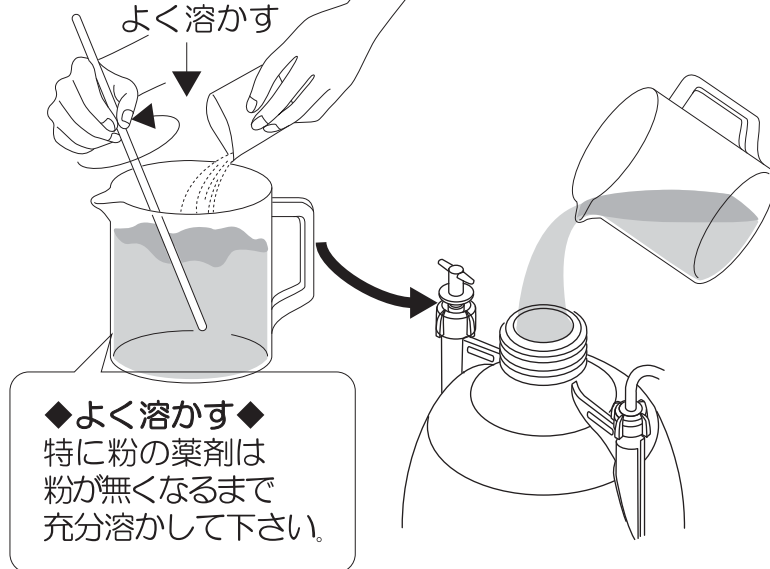
② ポンプをはずします。

①ハンドルをつめにロックさせ、タンクキャップをゆるめて下さい。



③ タンクに薬剤を入れる。

・別の容器で薬剤を充分溶かしてからタンクに入れて下さい。
※容器は付属しておりません。



注意 前回使用した薬剤が残っていないか確認して下さい。化学反応を起こし、有毒ガスが発生する危険があります。

注意 薬剤は規定量以上入れないで下さい。それ以上入ると噴霧時間が短くなります。
(規定容量：タンクに4の目盛り)

水(ℓ)	薬 剤(cc)		
	500倍に うすめるとき	1,000倍に うすめるとき	2,000倍に うすめるとき
1	2	1	0.5
4	8	4	2

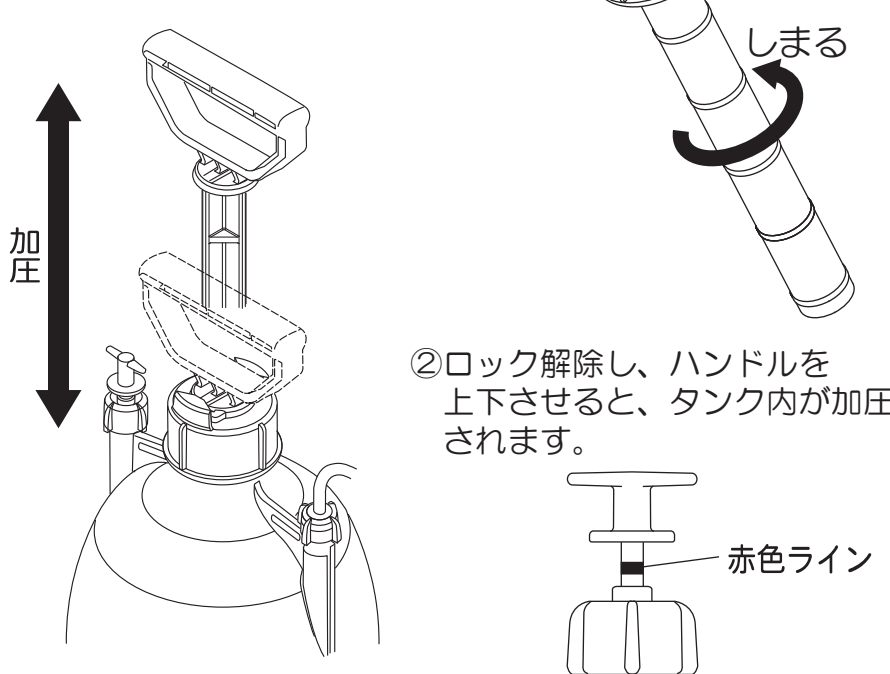
注意 薬剤を入れた後はキャップを確実に締めて下さい。締め付けが不十分な場合、加圧時空気漏れの原因となります。

④ ポンプを取り付け、加圧します。

注意 ノズルホルダーにノズルを立てたまま加圧しないで下さい。けがの原因となります。

注意 ノズルレバーが噴霧状態になっていないことを確認してから加圧して下さい。
(誤噴霧防止のため)

①タンクキャップを持ちシリンダーを動かなくなるまで閉めた後、タンクに取り付けて下さい。



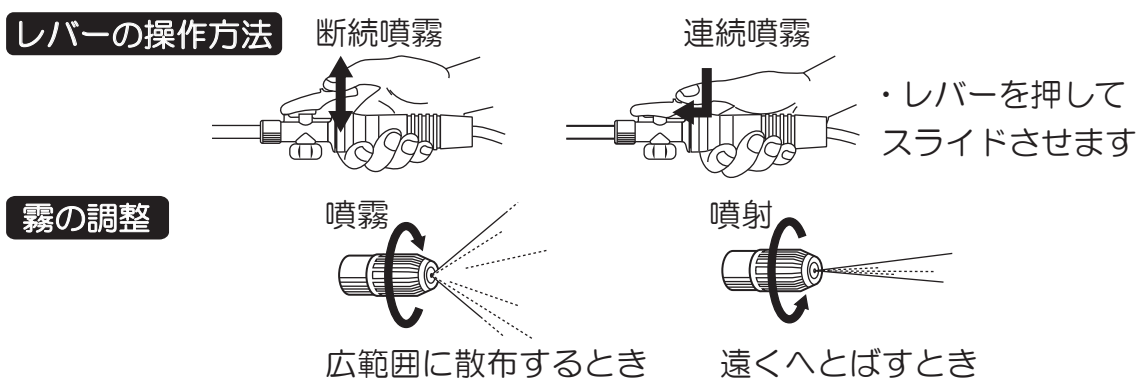
③噴霧適正圧力になり安全弁から「シュー」という音が聞こえたら加圧をやめて下さい。(この時、安全弁の赤色ラインが見えることにより確認できます。)

◆安全弁◆
加圧しすぎによる噴霧器の故障を防止するため安全弁が付いており適正圧になると自動的に圧力が逃げます。

④加圧後、ハンドルはロックして下さい。

⑤ 散布する。

①散布をします。



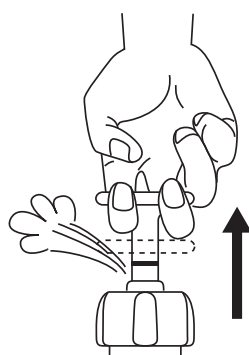
②霧の勢いが弱くなれば再び加圧して下さい。

注意 ○ノズルホルダーにノズルを立てる際、誤ってレバーに触れ誤噴霧しないようご注意下さい。
○余った薬液をタンクに入れたまま長時間放置しないで下さい。各部品が傷み、製品寿命が短くなります。

⑥ 使用後はタンクの圧力を抜く。

・散布が終われば安全弁レバーを引き、「シュー」と音がなくなるまで圧力を抜いて下さい。

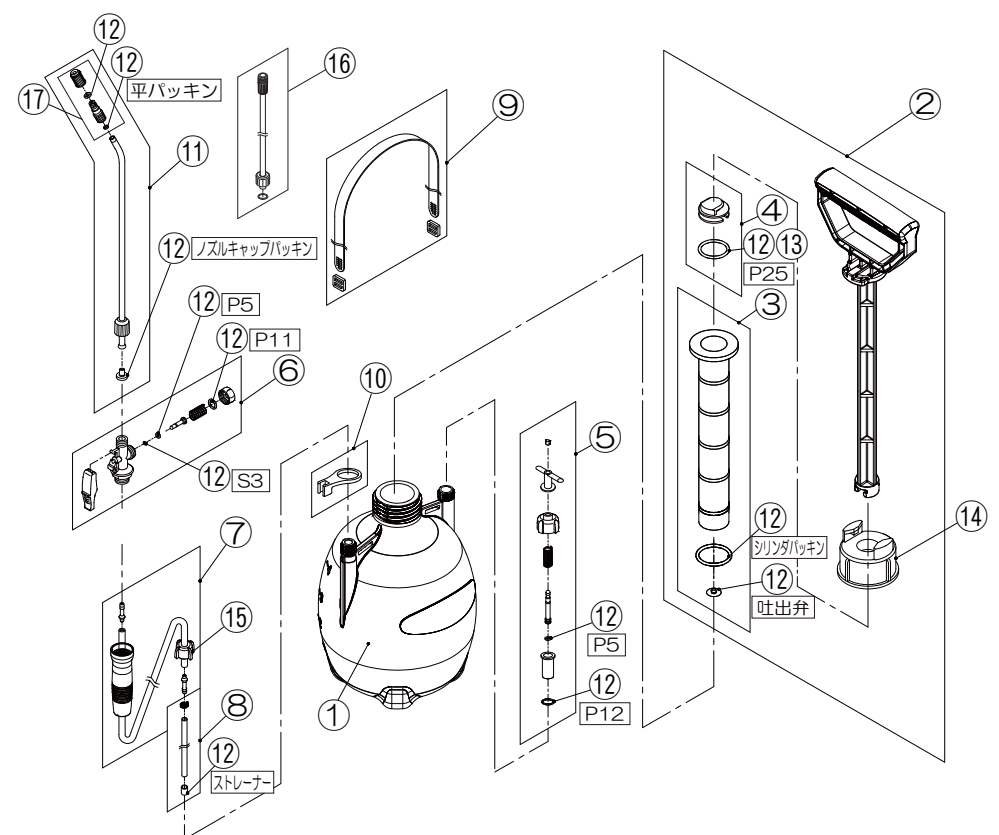
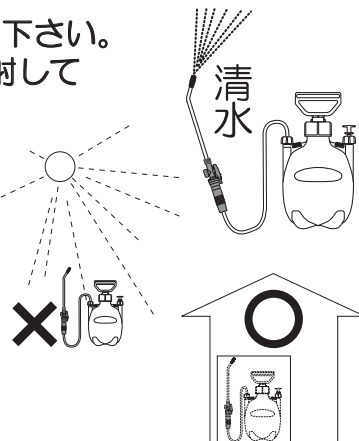
注意 ○タンク内を加圧したまま放置しないで下さい。
○ポンプやキャップをはずす際、必ず先に圧力を抜いて下さい。けがの原因となります。



⑦ きれいに洗い、箱に入れて保管する。

・使用後はすぐにきれいな水でタンク内の薬液を洗い流して下さい。
・きれいな水をタンクに少量入れて数回蓄圧し、約 60 秒噴射してノズルやホース内に残った薬液も洗い流して下さい。
・保管時はタンクキャップを緩めておいて下さい。締め付けによる応力割れを防ぎます。

注意 ○薬液が残るとノズル内で固まり、故障の原因となります。
○使用後は箱に入れるなど直射日光の当たらない場所で保管して下さい。直射日光は早くタンクを劣化させ、加圧時破裂の原因となります。



No.	部品コード	部 品 名	個数	パーツパックNo.	JANコード
①	0401348	4リットルタンク	1		
②	0408246	ポンプクミ	1		
③	0408204	シリンダークミ	1		
④	0408806	ピストンクミ	1	PA-177	4971770-402607
⑤	0408882	安全弁クミ (Eシリーズ専用)	1	PA-260	4971770-403826
⑥	0408814	ノズル本体クミ	1	PA-185	4971770-400610
⑦	0408248	吐出ホースクミ (1.5m)	1		
⑧	0408083	吸入ホースクミ	1		
⑨	0408209	ショルダーベルトクミ	1		
⑩	0401365	ノズルホルダー	1		
⑪	0408796	1段1頭口ノズルクミ	1	PA-169	4971770-400634
⑫	0408805	パッキンフルセット	1	PA-176	4971770-402584
⑬	889855025	ピストンパッキン (P25)	1		
⑭	0401366	タンクキャップ	1		
⑮	0401367	ホースキャップ	1		
⑯	0408795	延長パイプクミ (37cm)	1	PA-168	4971770-402447
⑰	0408792	1段1頭口	1	PA-164	4971770-400696
	0108750	HSグリス (5g)	1	PA-186	4971770-101937
	0401374	HS-Eシリーズ取扱説明書	1		

※部品は2012年9月現在のものであり変更される場合があります。パーツパックの設定のあるものは、パーツパックNo.及びJANコードを販売店にご依頼ください。